

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和元年度第2回河内長野市環境審議会
2 開催日時	令和2年3月13日(金) 午前10時から
3 開催場所	802会議室
4 会議の概要	1. 次期河内長野市環境基本計画の策定の方向性について 2. 市民アンケートについて 3. 河内長野市環境基本計画の構成について 4. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	非公開 新型コロナウイルスが感染拡大している状況から、当該会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認められる場合に該当すると判断されるため(河内長野市附属機関等の設置、運営及び公開に関する指針第11条第3項)。
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 環境政策課 環境政策係 (内線 420)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和元年度第2回 河内長野市環境審議会 会議要旨

○会議名称

令和元年度第2回河内長野市環境審議会

○開催日時

令和2年3月13日（金） 午前10時から午後0時20分まで

○開催場所

市役所8階 802会議室

○出席者

河内長野市環境審議会委員（別紙、委員名簿に記載のとおり）

事務局職員（上田課長、西課長補佐、竹林主幹、下神係長、山中）

○傍聴者

無し

○会議次第

1. 次期河内長野市環境基本計画の策定の方向性について
2. 市民アンケートについて
3. 河内長野市環境基本計画の構成について
4. その他

○会議資料

- ・資料1：次期河内長野市環境基本計画の策定の方向性について
- ・資料2：スケジュール
- ・資料3：市民アンケート（現在の満足度・今後の重要度の割合）
- ・資料4：河内長野市環境基本計画の目次（案）について

○内容

1. 次期河内長野市環境基本計画の策定の方向性について

事務局にて、資料1及び資料2に基づき次期河内長野市環境基本計画の策定の方向性について説明を行った。委員より、次のとおり意見があった。

- ・次期環境基本計画における「望ましい環境像」及び「環境目標」については、議論する余地があるのか。
⇒「望ましい環境像」については総合計画から逸脱しない範囲であれば変更は可能だが、「環境目標」については環境基本条例に規定されていることから、維持したい。
- ・施策としての「環境目標」については概念的なものであり、基本計画においてはより具体的な目標設定が必要である。
- ・総合計画の完全な下位計画であれば、総合計画の中間見直しを待たずして基本計画についての議論は行うことができない。総合計画の一部を取り出すものではなく、ある程度の独自性が必要となってくる。
- ・形骸化しないよう担い手も含めた計画とすべきであり、NPO法人等の積極的な活用が望まれる。
- ・環境という分野はやればやるほどコストがかかるので、無理のない取組みとすべき。

2. 市民アンケートについて

事務局にて、資料3に基づき、市民アンケート結果について説明を行った。委員より、次のとおり意見があった。

- ・アンケート結果については、H28年度の結果を見れば分かるとおおり、サンプルに偏りがある。
- ・アンケートを実施するのであれば、細かく具体的に設問を考える必要がある。
- ・アンケート結果を生かしきれていない。
- ・総合計画の中間見直しに当たり、地域でのワークショップを行っている。このデータを活用すべきではないか。
⇒地域でのワークショップ結果を含め、今あるデータを活用することとし、アンケートの実施の是非については、これらのデータの分析結果等により判断することとする。
- ・枚方市においては、市内の高校においてワークショップを実施し、若者の意見を反映させており、評価できる。
⇒プロポーザル事業者の公募に係る仕様書も含め、検討を行う。

3. 河内長野市環境基本計画の構成について

事務局にて、資料4に基づき、河内長野市環境基本計画の構成について説明を行った。委員より、次のとおり意見があった。

- ・重点プランの項目が基本計画の実質的な部分となる。「望ましい環境像」と併せて、プロポーザル事業者に案を用意させ、次回の会議まで（6月中）に各委員に送付し、会議までに意見を取りまとめることで、より効率的な会議としたい。また、その際には、今あるデータ資料も提供して欲しい。
⇒可能な限り、早く提供できるようにする。

4. その他

すべての議事が終了したため、会議を閉会した。

以上